

はじめに

第1部

道州制ビジョン懇談会「中間報告」の画期性

1-1 明記された「地域主権型道州制」	6
1-2 「地域主権型道州制」とは何か	6
1-3 2018年の導入を明示	7
1-4 国・道州・基礎自治体の役割分担	7
1-5 道州制ビジョン懇談会「中間報告」	9

第2部

「道州制基本法」の制定

2-1 自民党が検討した1段階方式	26
2-2 ビジョン懇は3段階方式を想定	27
2-3 「道州制基本法」骨子私案	28

第3部

道州制における税財政システム

3-1 税財政の制度設計の基本的考え方	34
3-2 新たな役割分担に基づく歳出規模	35
3-3 税財政の基本的な検討パターン	43
3-4 税源配分の具体案	46
3-5 共同財源の配分案	57
3-6 歳出と歳入の比較	65
3-7 国の長期債務の取り扱い	66
3-8 国の資産・負債の道州への移管	78

第4部

道州の区割り案

第1章 区割り案を考える意義 83

1-1 いま、なぜ区割り案なのか	84
1-2 区割りを考える際のメルクマール	85

第2章 どんな「区割り」がふさわしいか 87

2-1 既存の区割り案の比較と評価	88
2-2 集中検討地域のアンケート調査	99
2-3 新たな区割り案の検討	134
2-4 都道府県の分割案について	136
2-5 大都市の位置づけについて	137
2-6 区割りの決定と変更手続き	138

第3章 新たな区割り案の詳細と分析 139

3-1 30の区割り案とデータ	140
3-2 交流・流動データ分析	171
3-3 経済・財政データ分析	195
3-4 地域区分の歴史の変遷	211
3-5 自然地理的条件の確認	220
3-6 区割り案についての総括	221

第4章 「州都」はいかにあるべきか 225

4-1 道州の都市構造について	226
4-2 ポリセントリックという考え方	226
4-3 EUにおけるポリセントリシティ	227
4-4 州都はどうあるべきか	229
4-5 新たな大都市制度について	229
4-6 道州ごとに提起される課題	231

おわりに

資料編

249